

気象庁気象研究所と東京大気海洋研究所のチームは22日、地球温暖化により世界の平均気温が1度上昇した場合、国内で最高気温が35度以上の猛暑日の発生回数が1.8倍に増えるとの予測を発表した。

二酸化炭素(CO₂)の排出増により、世界の平均気温は産業革命前に比べ既に約1度上昇しており、対策を強化しなければ2050年ごろまでにさらに1度上昇する恐れが指摘されている。

チームの今田由紀子気象研究所主任研究官は、今回の予測について「温室効果ガスの排出削減の

北海道・佐呂間

39.5度

5月の全国最高気温

26日の日本列島は前日に続き広く高気圧に覆われて各地で記録的な猛暑になった。共同通信の集計によると、熱中症とみられる症状で北海道と宮城県で計2人が死亡、全国で575人が救急搬送された。北海道佐呂間町では39.5度を観測

各地猛暑 2人死亡

し、5月に観測された最高気温の全国記録のほか、年間を通じて北海道で観測された最高気温の記録を同時に塗り替えた。北海道で5月に猛暑日となるのは観測史上初めて。

北海道を中心に53地点が35度以上の猛暑日になり、513地点が30度以上の真夏日になった。季節外れの厳しい暑さは27日も続く見通しで、水分・塩分補給などの熱中症対策が必要だ。

また、佐呂間町を含む北海道東部では山越えの風が熱を帯びる「フェーン現象」の影響もあつたとみられる。5月の過去最高気温は埼玉原秩父市で1993年5月13日に観測された37.2度。北海道の過去最高気温は音更町で2014年6月3日、帯広市で1924年7月12日に観測された37.8度。

2019年5月27日朝刊

温暖化で猛暑日1.8倍

気象研予測 平均1度上昇時

取り組みへ活用を期待したい」と話した。

研究は、1951〜2017年の海水温度や大気中のCO₂濃度などのデータを基に、スーパーコンピュータによるシミュレーションで、温暖化が進む今の地球と、温暖化していない地球の気候を再現。国内で猛暑日が発生する回数を調べた。

この結果、現在1年間に延べ約2500地点で報告されている猛暑日が、1.8倍の約4400地点に増えることが分かった。

これまでも同種の予測はあるが、チームは過去の気象データを基にした予測で、信頼性が高い測はるが、チームは過



猛暑で40度を超える気温を示す温度計
＝2018年8月、岐阜県下呂市の飛騨金山駅前

2019年
5月22日
夕刊

① 「猛暑日」とは最高気温が何度以上の日と言うのか。記事から読み取って書きなさい。

[] 度以上

② 「猛暑日」の発生回数が増える原因として考えられることを記事から読み取って、1つだけ書きなさい。

[]

③ 涼しいイメージのある北海道でこのような猛暑になることもふまえて、あなた自身が考えた今年の「猛暑対策」を20字以上30字以内で書きなさい(句読点を含む)。

←20字

←30字

年 組 名前